

刊夕日五月五



定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
電話 五五五 印刷部 五五五  
發行所 常磐新聞社 印刷部 五五五  
社址 常磐新聞社 印刷部 五五五

### 李官堡の激戦と

## 大越中佐の戦死に就て (二)

岡本少将閣下御前講演

私は戦役間克く斥候又は道案内に出されましが大隊副官となりましても、黒溝台會戦初め相當命を受けました三月五日夜前民屯から第一線と交代の時も聯隊の案内役を命ぜられました。此時は晝間より磁石を以て方角を定めて居りましたから最後には殆んど道路に頼らずして磁石一個で敢行して先刻三宅閣下の御話がありました。混雑の最中なる李官堡に到着致しました。前面の敵情如何と聞きましても皆目判りませんが、後退する第九師團の兵卒が「好々」の云ふて後退します。處から察すると相當頑強であるか、優勢だなど云ふことを直覺しました。

三月六日の状況 午前二時下されたる命令の要旨は 一、歩兵第十八聯隊一大隊欠及工兵一中隊は右翼隊となり拂曉迄三部隊を以て張士屯東方約千米舊第九師團の陣地を占領し前面の敵情偵察 二、歩兵第五旅團騎兵二分隊は左翼隊となり拂曉迄三部隊を以て舊第七師團の陣地を占領の干渉屯

### 附近の敵情偵察

左翼兵隊は歩兵第六聯隊第一大隊は全力を以て廣正面に展開し所命の陣地に入り天明と共に射撃を開始し一部砲兵の射撃を加へ終日其陣地にありて偵察の後日没後初めて飯邊致しました。此間死者下士十二、負傷將校以下三八名、此間左翼隊長たる南少将は中隊長以上をして前地の偵察を命ぜしめ別に將校斥候を派遣して敵情を偵察しました。

當時三軒屋の南方に角面堡らしきものかあるとか夫れは單なる散兵壕に過ぎぬとか大部議論がありました。私は旅團長閣下より直接其視察を命ぜられた所謂精良なる角型眼鏡で附近を凝視しました。が、稍久しうして低く刈り折られた高梁の根本と覺しき處を露兵の帽子の上縁と想像せらるゝものが動くので見附けました。尚其附近を見て居りますと其中に只一個所常に帽子の耳の邊まで現はるゝ一点を見出しました。何か壕内か少し高く爲つて居つて夫れを跨いで通るのか之れに乗り上げて通るのかの關係

### 文藝募集

背景のなき平野の只中にある深さも百米内外に過ぎぬ低堡壘には當時では到底適當な觀測も行はれず又命中等は期することが出来ません。何等其反影を得ることが出来ませんでした。夫れから六日偵察戦中午後に至りまして私は又明拂曉には道案内が或我大隊が基準に當てらるゝ事と考へて居る處果して我大隊が基準となりましたもので行進方向の維持には苦心しました。棒杭を二本立て、晝間に磁石を充分標定致しました。

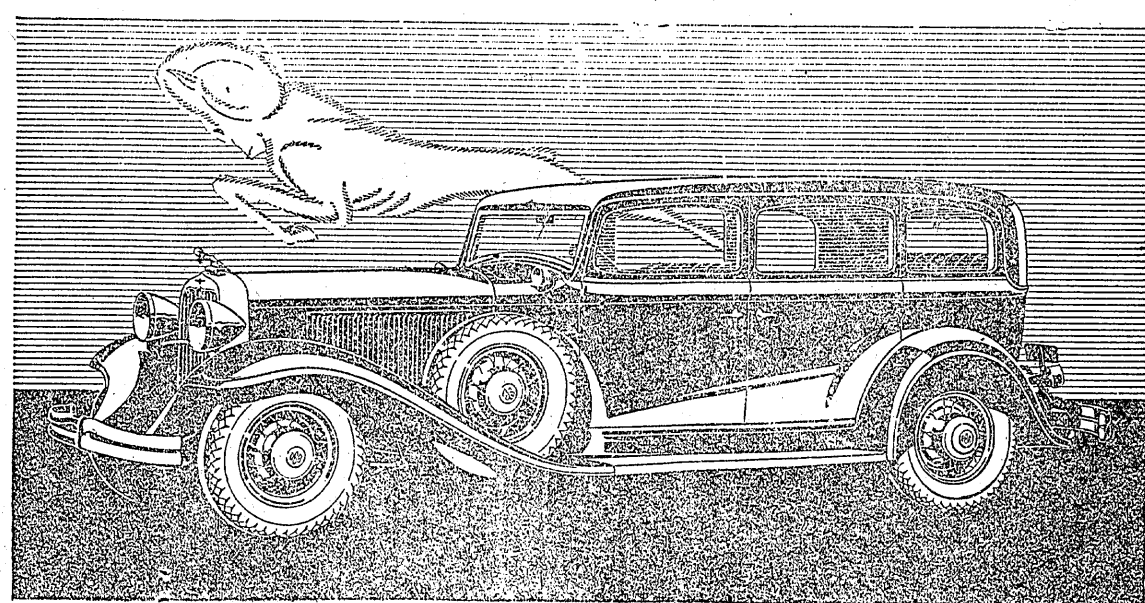
大塚の 學生靴!!!  
耐久新製品  
編上靴 六〇〇  
半靴 五〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……  
大塚支店製靴部  
電話七七番

看護婦急派の求めに應じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

科病柳花科兒小科内  
院醫沼藤  
町屋紺町平  
番七〇五話電  
應需院入

# DOGGE



新車御披露  
御國の爲の三勇士三九二タクシー客の爲  
獅子吼の勢で眞先に亦も高級車着荷  
一九三二年最新型高級車  
ダツチブラザース號ウリトラセダン  
是非御愛乗願します……  
斯界のナンバーワンは  
三九二タクシーダツチ

平町一丁目 三九二タクシー  
電話 三三九二番  
四四九二番

# 八河川復舊

## 大工事開始

### 愈よ来る十一日入札執行

### 使用人夫の延人員六十萬

### 失業救済期待

愈々本月下旬より開始される平土木監督所管内八河川災害復舊大工事は来十一日午前八時より同所内に於いて全工事の入札を行ふが工事處用日数は二ヶ年餘に亘り使用人夫は延人員六十萬餘と見込まれて居る事として失業救済としても各方面より期待されて居ると尙改修工事を行ふ河川及び處要日數左の如くである

- △鮫川筋 植田町字御堂地内(日數六十日)
- △蛭田川筋 川部村大字山玉字修路地内(日數五十日)
- △蛭田川筋 勿來町大字酒井字住生作地内(日數四十五日) 同く同町字横手地内(日數三十五日)
- △藤原川筋 磐崎村大字藤原字柿平(日數四十五日) 同町字柿平の二地内(日數五十日) 石城郡泉村大字瀧尻字松原下の一地内(四十五日) 同村大字瀧尻字宿川地内(四十五日)
- △夏井川筋 夏井村大字

大越字瀧澤地内(四十五日)

△小玉川筋 赤井村大字

西小川字平久田地内(五十日)

△好間川筋 好間村大字

中好間字上川原地内(四十五日)

△藤原川筋 磐崎村大字

藤原字鶴巻地内(六十日)

仙臺通信局管内濱三郡三等郵便局長會議は本日午前九時より平署會議室に於いて開會仙臺通信局長村保課長、岩佐監督課長等出席今明兩日に亘つて左記の如き順序に依り協議をなすと

### 三等郵便局長會議

#### 今明兩日平町に開く

仙臺通信局長會議は本日午前九時より平署會議室に於いて開會仙臺通信局長村保課長、岩佐監督課長等出席今明兩日に亘つて左記の如き順序に依り協議をなすと

井川の木橋幕の内橋は總工費三千五百圓で三日から架替へに着手した

### 竣工式

#### 廿日頃か

#### 水道擴張工事

平町上水道擴張工事は滞りなく進捗し各部主要工事は殆ど完成の域に達し目下工事の異彩である八幡小路の二十五尺の高架配水槽の竣工を待つばかりとなり二十日頃にはその完成を見るの同所の傍らで盛大なる竣工祝賀式を行はる運びと

#### 幕の内橋架替

平町から平窪村鯨岡に通ずる夏

なり目下各種準備に忙殺されてゐる

### 錦村で

#### 二毛作

#### 賞品授與式

石城郡錦村農會實行組合では九日午後一時より組合長會を開會春蠶の桑購入法に就いて協議をなし終つて昨年度同會にて主催せる榮種紫雲英栽培品評會の賞品授與式を舉行すると

#### 半數以上が

#### 看護婦試験合格

平町一丁目鷹崎女史經營の

### 掃立は三割減か

肥料購入が出来ず桑葉不足の爲めに

青山技手

### 藤原川

#### 改修

#### 三ヶ年の

#### 繼續事業

石城郡の藤原川は總工費四十四萬圓、内半額國庫補助の三ヶ年繼續事業として改修する事に政府の方針が決定した

### 桑園栽培

#### 神谷で講習會

石城郡神谷村農會では来る廿日午前八時より一週間同村小學校に於て桑園栽培の講習會を開催するが講師は郡會青山技手である

石城産婆看護婦學校卒業生四十名中今回の看護婦試験に廿六名合格し頗る良好な成績を示して居ると

### 海水浴の

#### 道路新設

#### 四倉町にて

石城郡四倉町では海水浴客の便宜と町發展を期するため保安林の一部を解除して本町から直線に海岸へ通ずる道路を新設する事となつて七日町會を招集してこれが豫算を決定することになつた

### 柿の貯蔵は

#### 農事試験場

石城郡農事試験場の室素ガスを柿を貯蔵する試験の結果に依ると三ヶ月位は原型のまま貯蔵し得るが其の後は崩れて仕舞ふので更に研究の餘地あり目下の處一般には獎勵せぬ方針であると

### 平映畫界

回平 館 松竹時代劇林長二郎主演「女難の與右衛門」松竹現代劇川崎弘子田中絹代主演「生活線ABC」后篇「日活時代劇片岡千恵藏主演「國士無双」

駒場平商教育出張 平商業學校駒場教官は来る十三日より六日間仙臺市工兵大隊に於て行はれる將校現地戰術參加の爲め十三日平發朝一番にて出張すると

### 募 二勇士 遺族の

一、弔慰金一人金拾錢均一に願ひます  
二、右弔慰金は平驛前九ツ阿部石炭店又は常磐毎日新聞社に御届を乞ふ  
三、寄附者芳名を常磐毎日新聞紙上に掲載領收書に代ふ

### 阿部政右衛門

#### 常磐毎日新聞社

#### 寄附者芳名 第廿八回分

六間門	高野 五助	同	同ムラ子
同	小野 寛美	同	同ハル子
同	新妻 唯祐	同	同トク子
同	川島 テウ	同	同トク子
同	神長 倉律	同	堂ノ前
同	東條 祐英	同	石川 さた子
同	白石 英夫	同	緑川 あさ
同	長瀬 富彌	同	石山 卓
同	同 泰 輔	同	渡邊 よし
同	同 泰 輔	同	稲川 幸一
同	同 泰 輔	同	磯上 初枝
同	同 泰 輔	同	同 藏 三
同	同 泰 輔	同	同 トシ子
同	同 泰 輔	同	石山 謙郎
同	同 泰 輔	同	岡 田

### 軍事教練の向上

#### 濱三郡各校配屬將校協議

来る二十二日午前九時より磐城中學、平商業、相馬中學、双葉中學、原ノ町農蠶各校の配屬將校が平商業學校に集合生徒の軍事教練の振作向上に就て協議すると

### 繼走競技

#### 決勝戦出場選手

磐城中學運動會に於ける第三十五回郡下各小學校對校八百米リレー競技は磐城グラウンドに於て既報の如く本日午前十一時二回に亘り豫選が行はれたが出場校は平第一、第三、飯野、好間小名濱、勿來、豊間、草野の八校にして成績は左の如く各一、二等が決勝戦に出場する事になつた

#### △一回

一着 平第一 (二分十一秒五分ノ三)

二着 草野

三着 勿來

四着 豊間

#### △二回

一着 好間

(二分十二秒)

二着 小名濱

三着 平第三

四着 飯野

#### △決勝戦出場選手

(平第一) 緑川浩行 佐藤喜一 小林正久 名尾卓郎 (草野) 鈴木仁一 片寄泰治 大平昇 松本喜正 (小名濱) 馬上安吉

小松正 西山仁三 飯島宗喜 (好間) 佐藤忠 田中清 天尾爲吉 佐藤正

### ツ、デ美化

#### 電燈裝飾協議

平町土木委員會は明六日午後二時より會議室に開會松ヶ岡公園内躰園の電燈裝飾費豫算及び南町裏道路工事の補助額決定等に就いて協議をなすと

#### 二人掛り

#### 泥酔漢毆打

石城郡内郷村字御殿坑夫山崎嶺太郎(三)は三日午後八時頃友人の佐倉重次(三)と坑夫風呂からの歸途泥酔せる伴野友記に突當り悪罵されて立腹二人掛りて伴野を

### X會賞は平第三に

#### 今年で二回續く

#### 郡下兒童圖畫展審査結果

磐城X會主催郡下各小學校兒童圖畫展審査は既報の如く本日磐城圖畫室に開催されたが出品校は勿來、磐崎第一、好間、江名、草野、小名濱、植田、豊間、四倉平窪、湯本入山、湯本尋高平各小學校の十六校にして審査の結果X會賞學校賞は平第三小學校に美友會賞個人賞は小名濱小學校尋常科第三學年鈴木完治君が入賞した因に平第三小學校は前年も入賞し今回を以つて二回續けて入賞の榮を握つたので來年入賞すればX會の額賞を授與されると

### X會の

#### 圖畫展

#### 入賞者氏名

磐城中學第三十八回X會展覽會は既報の如く校内に於て本日開かれたが入賞者は左記の如くである

△X會員(風景)一年北野正明(鶏)二年川島正己(機關庫)三年菊地光國(病院)四年佐藤文夫寺

### 別れ話

#### 本當に實現

#### 女房ピツクリ

双葉郡浪江町西町の渡邊ヤ

散々殴りつゝ負傷せしめて逃走せる事覺駐在所員に取押られた

### 夏の訪れ

#### 幾分變態的な天候

平地方は二三日来急に夏を思はせる暖さでセルを着たり、麥藁帽を冠つたり、街行く人を見かけ街頭にはアイスクリームや水菓子の行商が進出し、まるで真夏の訪れの如き風景を示して居る小名濱測候所の觀測に依ると例年よりも二三度高いとの事で幾分變態がかつて居るといつて居る

四年野木源一郎(寫生) 四年廣澤榮太郎(切り通し) 四年小幡植三(働く人) 四年吉川三郎(樺) 五年鈴木武海の工事(水野)

茂松(静物)五年村山正吉(晝休)五年大内謙二郎(街)五年國玉喜輝(子守) 五年庄司昇 △美友會賞(少女)五年鈴木武

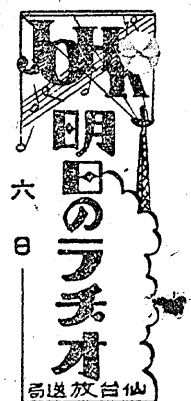
### 平署犯罪件數

平署の去月中犯罪件數は總件數三百十件、檢舉人員百二名にて主なるは窃盜犯の三十五件(六名)詐欺の十五件(四名)横領七件(七名)賭博二件(七名)傷害五件(五名)等である

### 平裁判所便り

△平町字番匠町大關佐吉(三六)は昨年十月二十五日三丁目菊地重勝方前道路に於て赤坂菊影と口論の末頭部及び胸部を毆打し

△石城郡湯本町大字湯本字寶海二十八番地日野利春(三三)は去る三月十日湯本區有林高倉山林に於て焚火を爲し山林約九反歩を焼失せしめ森林法違反として罰金三十圓



### 明日の部

今晩は南風曇り明日は南東の風曇り夕方雨

### 今晚の部

△後六、〇〇 子供の時間 「東西早廻り放送リレー」  
△後七、三〇 講演 文學博士幸田露伴 「長唄「楠公」」  
△後八、三〇 獨唱 宮川美子 ピアノ伴奏松山智恵子 帝國ホテルより中継  
△後九、二〇 常磐津「後の月酒宴島臺」角兵衛 帝國

### 明日の部

△前九、一〇 料理献立「ヘリンゴドテンダロイン」朝倉長吉  
△前一〇、三〇 家庭講座 後一〇、〇五 落語  
△後一、一〇 運動競技「六大學リーグ戦試合状況」  
△後二、〇〇 婦人講座「女性の分担法」學博士寛克彦  
△後四、〇〇 角力中継「大日本相撲選手権大會狀況」東京九段靖國神社相撲場より中継  
△後六、〇〇 子供の時間 「東西早廻り放送リレー」  
△後七、三〇 講演「戦争と防弾チョッキ」東北帝國大學總長理學博士本多光太郎  
△後八、〇〇 俚謠「安曇節」信州大町連中  
△後八、一〇 俚謠「彦山踊」福岡縣田川郡彦山村有志  
△後八、二〇 放送舞臺劇「忠臣藏六段目」歌舞伎座より中継  
△後九、三一 奉天より

△石城郡湯本町大字湯本字湯本四十四番地橋本熊藏(三三)は本年一月十八日把手に故障ある自動車修理せず運轉し湯本村内に於て石山七郎に全治二週間を要する傷害を負はせ業務上傷害罪として罰金五十圓

### 平職業紹介所報告

#### 求人部

△出前持 二十三迄 尋卒 月十圓(平町某)  
△看護婦見習 十六才位 高卒 給料面談(浪江町某醫院)  
△小間使 十八才迄 尋卒 年三十圓位(平町某)

△石城郡湯本町大字湯本字寶海二十八番地日野利春(三三)は去る三月十日湯本區有林高倉山林に於て焚火を爲し山林約九反歩を焼失せしめ森林法違反として罰金三十圓

△石城郡湯本町大字湯本字寶海二十八番地日野利春(三三)は去る三月十日湯本區有林高倉山林に於て焚火を爲し山林約九反歩を焼失せしめ森林法違反として罰金三十圓

△石城郡湯本町大字湯本字寶海二十八番地日野利春(三三)は去る三月十日湯本區有林高倉山林に於て焚火を爲し山林約九反歩を焼失せしめ森林法違反として罰金三十圓



# 慕末武士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

〔第四十二席〕

眞庭念流達人櫻井五助

變な武士道

遠藤仁右衛門の家祿は相續人のあるまでと一時取上げ妻には金子一百兩、當座の入用として下げられた、此時遠藤の甥の櫻井五助は病氣療養の爲に能登の七尾の温泉にゐたが知らせによつて早速高田に歸つて來て事情を聞くと此の始末、伯父は薄命な人である大層歎いたが如何ともいたし方がない、仁右衛門の妻を慰め、何れ親類の内より養子をして家名の立ち行くやうにいたしました故茲當分の間御淋しくもこれにてお過しなと慙う申して置いたが伯父と村上と二人にて森川甚平を斬り捨てるはさして難事でもあるまいに、伯父が甚平に討れたとは訝しいと思つてゐた、此方は村上主殿です、目の上の瘤とした遠藤仁右衛門を除いて以來大分御前の首尾も宜しく従つて放縦な事をする、近侍共は村上め、遠藤殿が死してより以來大層威張り居ると影では悪く云ふが殿様の首尾が宜いから排斥する事も出来ない、この主殿は勘定方と共に謀して高田の町の商人に金を貸す、



貴は殿様のお手許金を町人共に貸與へると云ひ期日迄には必ず返金しろ、延引いたせば縛つて牢に入れると慙う感して置く、夫故どんな都合をしても屹度其期日には持つて來る、ヌルと織

見苦しさ」といふ川柳がある向ふに紙が落ちてゐるがあれに金が包んであるかとボンと蹴る、大小を帯してゐる人では何となく賤しく見えます  
主「コレ七郎次」  
と呼ばれて若黨が  
七「御用でございませうか」とそれへ來た  
主「あの越後屋よりはまだ金を届けて參らぬナ」  
七「左様でございませうか、持つて來たと存じますが」  
主「イヤまだ届けて寄越さぬ、先月の晦日までに皆済する約束だ、然し五十金だ

七「越後屋の主人は正直でございませう」  
主「正直者なればとて金に心は變るものなのう、七郎次金ほど能く働くものは無いぞ、人は如何に稼げばとて寝て居る間は金を儲ける事は出来まい、ところが金は不眠不休で働く、廿兩に就て月一步の利息だ、これが三百兩ならば月に三兩三步、これが三月だと十一兩一步になる、それが一年だと莫大な金利になる、若しこれが五十年と來ると」  
七「これは恐れ入りました、貴下はお金がお好きでございませう」  
主「金の嫌ひな人間があるか、泰平の世に武士たりとも頼りにいたすは金ばかりだ、亂世ならば何時討死するか分らぬから金は尊くもなし又主人から暇を出されたとして他に奉公いたす事も出来るが、世の中が穩かになつて來ると暇を出される、と最後百石で奉公する事は容易に出来ない、其時金がある主人を取らずとも安樂に世を過すことがなる、世を渡るに差支ない程の貯へがあらば心もゆつたりとして見る態がよい、富める人の額には光りがある、身に貧に暮す奴は顔が薄暗い、従つて出世をいたす事も出来ない、斯う考へて來ると金ほど有難いものは無い、貴様も辛抱して貯めろ、貴様の給金は年に五兩だ、これを十年貯めれば五十兩になり百年貯めれば五百兩、ナニそれまでは生きまとい

元問屋越後屋十兵衛に三百兩貸して二百五十兩だけは返したが五十兩残つてゐる七月の十三日の事であつたが主殿は帳簿を開いて貸金の戻つて來たを調べてゐた武士が算盤を前に置いて帳面を覗んでゐるは甚だ有難くない「帯刀で紙屑を蹴る

七「越後屋の主人は正直でございませう」  
主「正直者なればとて金に心は變るものなのう、七郎次金ほど能く働くものは無いぞ、人は如何に稼げばとて寝て居る間は金を儲ける事は出来まい、ところが金は不眠不休で働く、廿兩に就て月一步の利息だ、これが三百兩ならば月に三兩三步、これが三月だと十一兩一步になる、それが一年だと莫大な金利になる、若しこれが五十年と來ると」  
七「これは恐れ入りました、貴下はお金がお好きでございませう」  
主「金の嫌ひな人間があるか、泰平の世に武士たりとも頼りにいたすは金ばかりだ、亂世ならば何時討死するか分らぬから金は尊くもなし又主人から暇を出されたとして他に奉公いたす事も出来るが、世の中が穩かになつて來ると暇を出される、と最後百石で奉公する事は容易に出来ない、其時金がある主人を取らずとも安樂に世を過すことがなる、世を渡るに差支ない程の貯へがあらば心もゆつたりとして見る態がよい、富める人の額には光りがある、身に貧に暮す奴は顔が薄暗い、従つて出世をいたす事も出来ない、斯う考へて來ると金ほど有難いものは無い、貴様の給金は年に五兩だ、これを十年貯めれば五十兩になり百年貯めれば五百兩、ナニそれまでは生きまとい

七「越後屋の主人は正直でございませう」  
主「正直者なればとて金に心は變るものなのう、七郎次金ほど能く働くものは無いぞ、人は如何に稼げばとて寝て居る間は金を儲ける事は出来まい、ところが金は不眠不休で働く、廿兩に就て月一步の利息だ、これが三百兩ならば月に三兩三步、これが三月だと十一兩一步になる、それが一年だと莫大な金利になる、若しこれが五十年と來ると」  
七「これは恐れ入りました、貴下はお金がお好きでございませう」  
主「金の嫌ひな人間があるか、泰平の世に武士たりとも頼りにいたすは金ばかりだ、亂世ならば何時討死するか分らぬから金は尊くもなし又主人から暇を出されたとして他に奉公いたす事も出来るが、世の中が穩かになつて來ると暇を出される、と最後百石で奉公する事は容易に出来ない、其時金がある主人を取らずとも安樂に世を過すことがなる、世を渡るに差支ない程の貯へがあらば心もゆつたりとして見る態がよい、富める人の額には光りがある、身に貧に暮す奴は顔が薄暗い、従つて出世をいたす事も出来ない、斯う考へて來ると金ほど有難いものは無い、貴様の給金は年に五兩だ、これを十年貯めれば五十兩になり百年貯めれば五百兩、ナニそれまでは生きまとい

七「越後屋の主人は正直でございませう」  
主「正直者なればとて金に心は變るものなのう、七郎次金ほど能く働くものは無いぞ、人は如何に稼げばとて寝て居る間は金を儲ける事は出来まい、ところが金は不眠不休で働く、廿兩に就て月一步の利息だ、これが三百兩ならば月に三兩三步、これが三月だと十一兩一步になる、それが一年だと莫大な金利になる、若しこれが五十年と來ると」  
七「これは恐れ入りました、貴下はお金がお好きでございませう」  
主「金の嫌ひな人間があるか、泰平の世に武士たりとも頼りにいたすは金ばかりだ、亂世ならば何時討死するか分らぬから金は尊くもなし又主人から暇を出されたとして他に奉公いたす事も出来るが、世の中が穩かになつて來ると暇を出される、と最後百石で奉公する事は容易に出来ない、其時金がある主人を取らずとも安樂に世を過すことがなる、世を渡るに差支ない程の貯へがあらば心もゆつたりとして見る態がよい、富める人の額には光りがある、身に貧に暮す奴は顔が薄暗い、従つて出世をいたす事も出来ない、斯う考へて來ると金ほど有難いものは無い、貴様の給金は年に五兩だ、これを十年貯めれば五十兩になり百年貯めれば五百兩、ナニそれまでは生きまとい

そんな事では叶かん、死ぬなどといふ事を思ふナ、よし貴様が死ぬばとてそれほどの金があれれば妻子は安樂だ、さア越後屋から金を取つてまわれ、約束ゆゑ是非共今日は呉れろと申して受取つて參れよ、若し呉れぬ時は金の出來るまで動くナ、此事を確と心に刻み付けて行け、これも主人への忠義武士道を忘れるな」と云ひましたが變な武士道があるものです。

御用命は印刷物の總て  
常警日每印刷株式會社  
電話三六〇番

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 胃性 腸病  
本院 院醫科 院醫科  
電話一七〇番

父喜正儀沖繩縣八重山郡竹富村ニ  
出向中ノ處去ル三月二日午前十時  
死去仕り候間此之段御通知申上候  
追テ葬儀ハ來ル五月六日午後一時自宅柳  
町出棺長源寺ニ於テ告別式相替ミ度ク次  
第二御座候  
昭和七年五月四日  
柳町  
山崎今之介

初夏のノミモノ初め  
一ブドウ酒 金拾錢 一カルピス 金貳拾錢  
一レモン 金拾錢 一ドリコノ 金拾錢  
一水豆 金八錢 一アイスクリーム 金拾錢  
一アヅキアイス 金五錢 一チョコレート 金拾錢  
ドーズお散歩と博覽會見物の  
おかへりにお立寄り下さい  
改築の食堂がおまらして居ります  
御料理仕出し 平二丁目警察署通り  
鮮魚 魚清 魚清 魚清  
折詰御壽司 電話六三三  
勿來製氷一手販賣 魚清氷卸部 電話四六七

平新川町十九  
木村病院  
電話一六四番  
院長 木村寅次郎  
産科 婦人科 内臓外科 整形外科  
醫學士 松永憲一